

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第11回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・報告事項（公開）

（1）視察研修の報告について

・協議事項（公開）

（1）令和7年度地域協議会開催日時について

（2）令和7年度地域協議会だより編集委員の選出について

（3）大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」について

・その他（公開）

3 開催日時

令和7年3月19日（水）午後7時00分から午後8時30分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：天野委員、小林委員、佐藤委員、佐野委員、清水委員、新保委員、土屋会長、俵木副会長、横田委員

（14名中9名出席）

・事務局：大潟区総合事務所 小池所長、池田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、新保市民生活・福祉グループ長、風間班長、水澤主任

8 発言の内容（要旨）

【池田次長】

・会議の開会を宣言

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【土屋会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：横田委員に依頼

【土屋会長】

報告事項（1）視察研修についてに入る。事務局から説明を願う。

【風間班長】

資料No.1により説明。

【土屋会長】

参加された委員からも報告願う。

【佐野委員】

3月1日に中郷区へ行ってきた。詳しくは研修報告にも書いてあるが、一番感銘を受けたのは、非常に和やかでお互いに話をしやすい雰囲気づくりがあったことである。それから、皆の声を吸い上げて、それを何かの形にしようという意気込みがあったことである。何かのアンケートを取る場合に、通常では各世帯の大人向けであったが、小学校等に各委員が出向いて趣旨説明をして実施したと聞いて、各学年1クラスずつくらいであるのでできるのかと思うが、非常に手の込んでいるところだと感じた。アンケートの手法として、QRコードを設けてインターネットを利用して意見集約できることも今の時代であると感じた。参考になる部分もあるし、中郷区独自の手法もあったのかなと思って、それを大潟区で右に倣えというわけにはいけないと思う。先進地であり中郷区にあった独自の方式できめ細かな方式を取っていて大変参考になった。

【横田委員】

自主的審議事項の「まちづくり」で協議している課題とマッチした内容で非常に参考になった。佐野委員が言われたようにアンケートを取るということが非常にいいと思った。今取り組んでいる内容が住民の求めている内容なのか、私の中では確証がないまま進んでいる。ちゃんとした声を拾った方が話は進みやすいと思うので、アンケートを取ることは第一過程であると感じた。地域協議会が司令塔のような形になっていて、実動部隊となる各団体にすぐに指令が飛んで、すぐに活動ができる体制が整っているところ

が素晴らしいと思った。実動部隊がどのように動くのかをさとまる学校が細かく指示していると捉えた。資料が分かりやすく、さとまる学校がどのような団体と関わっているかを大潟区に置き換えるとどのようになるかと思いながら聞いていた。さとまる学校の代表をされているのが、中郷区地域協議会の竹内会長である。竹内会長がキーパーソンでありいろいろな団体に関わっている。20数年前からまちづくりに対して情熱をもってやられていて、上の方とも繋がり、下の方にも声をかけてどんどん行事に参加してもらっているところが、実動部隊として動ける人たちが育っていった要因であると思った。まちづくり大潟、大潟の子どもを育てる会、社会福祉協議会大潟支所など大潟にも団体がたくさんある。それらの団体にはそれぞれの特色があり、課題に対してみんなで連携して同じ方向に行けるような仕組みを大潟で取組めるように工夫ができればいい。どこから始めればいいのかと考えながら聞いていた。できれば各団体も一緒に視察に行ければ動き方が分かって考えやすいのではないかと。今後、そのような機会があるといいと思う。

【土屋会長】

さとまる学校等へ追加で聞きたいことがあれば竹内会長に尋ねることはできる。

【佐藤委員】

私は中郷区地域協議会へ3回ほど傍聴に行ったことがある。報告会も今回で3回目である。以前は、市長を招いて最後に講評をしてもらったり、中学校長から生徒がスキーで活躍していることの報告があったりもした。市議会議員にも参加の案内をしているようだ。私が参加している団体でシンポジウムを開催したときに竹内会長からパネラーとして参加してもらった。そのときにも今回のような説明等を受けたが詳しくは分からなかった。さとまる学校は文部科学大臣表彰を受賞した。全国的にも珍しくユニークな子ども目線の活動を行っている。中郷区は「中郷大好き」という視点であり我々とは違う。我々は、地域の問題点があるかという点で話を進めているが、「中郷大好き」、「子どもたちの郷土愛を育む」、「困りごとはないか」といった設問の仕方をしている。我々も根本的に考え方を変えなければ駄目であると感じた。

【土屋会長】

それでは、協議事項（1）令和7年度地域協議会開催日時についてに入る。私は、これまでどおり毎月第3木曜日の午後7時からでよいと思っているが意見はあるか。

【風間班長】

本日欠席の委員の意向を伝える。小山委員からの意見はなかった。押見委員と竹田委員はこれまでと同じでよい、金澤委員は開始時間を30分早めて6時30分からの開始にしてほしい、柳澤委員は木曜日に予定があるため可能であれば木曜日以外を希望するとのことであった。

【土屋会長】

第6期の地域協議会が始まったときに、委員が一番多く集まれる木曜日の午後7時から決めた。これまでも振り返っていかがか。これまでと同じ時間帯での開催でよろしいか。ずっと参加できない委員がいた場合に改めて検討することでもいいか。

【佐野委員】

3月に欠席者が多いのは、年度末で忙しいためか。

【風間班長】

今回は第3木曜日が祝日であったため水曜日開催となった。水曜日は都合が悪いという委員がいたり、体調不良で欠席の委員もいる。年度末だからという理由だけではないと思われる。

【土屋会長】

確認する。これまでと同じく第3木曜日の午後7時からでよいか。

(一同了承)

協議事項(2) 令和7年度地域協議会だより編集委員の選出についてに入る。事務局から説明願う。

【風間班長】

地域協議会だよりは年3回発行している。令和6年度は副会長と委員3人の計4人体制であった。令和7年度は会長と委員3人の体制としたい。欠席委員の意向は、竹田委員は今回立候補したい、押見委員と柳澤委員は立候補する委員がいない場合にはなってもいい、金澤委員は諸事情により今回は遠慮したいとのことであった。

【土屋会長】

竹田委員が立候補されているため、あと2人を決めたい。立候補等はあるか。

(一同なし)

では、やってもいいと言っている押見委員と柳澤委員にお願いすることによりか。

(一同了承)

次に協議事項（３）大潟区の「地域の魅力の向上」及び「まちづくり」についてに入る。今回もグループ協議を行う。

～グループ協議～

【土屋会長】

では、まとめに入りたいと思う。

【小林委員】

地域の魅力の向上ということではいろいろと意見が出たが、協議の中で壁にぶつかった点がある。かっぱ祭りでさえ運営側の人手不足で中止になる。我々はいろいろな案を挙げてきたが、人がいなくては何もできないことが改めて分かった。視察研修で中郷区の様子を聞き、大潟区で検討しているテーマが大潟区の皆さんの意見なのかと振り返ることになった。そして、住民が本当に求めているものをテーマとして挙げているのかというところに辿り着いた。どこまで結果が出るか分からないが、些細なことでもいいので住民からの意見をまずはアンケートを取ってみたいかという原点に辿り着いた。大潟区の一人一人に意見や思いがあると思う。そこを各団体に意見を添えて提示して、マッチングというか仲介役になれるような方向にもっていきたい。住民の意見を聞かなければ、地域協議会で検討している意義がなくなる。独りよがりの地域協議会とならないようにするためにもそれがベストであると考えた。

【新保委員】

まちづくり班では、シニア世代と子ども世代について、免許返納の難しさや子ども居場所確保が課題ではないかと協議してきたが、この２点について住民がどのような思いを持っているかのアンケート調査をしたといいという話が出た。小学４年生から６年生、中学生、高校生、子育て世代、高齢者を対象として、アンケート項目については次回までに委員それぞれが考えてくることになった。答えやすい回答方法も今後検討していく。町内会長協議会、民生委員、地域で開催されているサロンの方々、高齢者と関わりのある包括支援センターなどにも協力していただけるといいと思う。

【土屋会長】

どちらの班も地域住民の声を聞きたいという意見があった。別々にアンケート調査等を実施するのはどうかと思う。次回は、それぞれの班がどういった項目でアンケートを実施したいか出し合って、全体で協議してアンケートの素案を作りたいと思うがいかか。

【新保委員】

まちづくり班は今日の協議でそこまで話が進んだが、地域の魅力の向上班は項目を出すまでになっていない。

【清水委員】

中郷区のアンケート内容を確認することはできるか。

【風間班長】

ご要望があれば取り寄せる。

【佐野委員】

中郷区だけでなく、13区の中でアンケート調査を実施した区があれば、そこからももらったらどうか。

【新保委員】

多くなると逆にわからなくなるのではないか。

【小池所長】

アンケート調査をして大潟区の住民の気持ちを探るのは非常にいいことであると思うが、役所のこれまでの進め方として、何かの計画を作る場合の常套手段として事前にアンケートを取る。例えば10年に1回くらい総合計画という大きな計画を作る。その前に市民の声をアンケート調査する。総合計画なのであらゆる分野について、市民にとって課題、裏を返すと重要な施策は何かを聞く。そういった時には災害対策や防災などへの意見が多いが、命に係わることであるため当然である。その次に福祉関係についてであるが、高齢化が進んでいるため意見が多い。総合的に意見を聞くと観光等の意見は低くなる。アンケート調査をするのであれば、こういったことを考えているがそれについて掘り下げる聞き方をするのがいいと思う。聞くのであればより具体的に少し絞ったほうがいい。また、設問が多すぎると回収率が落ちる。中郷区がどのようなアンケートを行ったか分からないが、シンプルなアンケートがいいと思う。地域福祉計画を作ったと

きのアンケートは、子どもたちに大潟のいいところを聞くところから始まるいいものであった。そういったところも参考にしてはどうか。

【風間班長】

2年前に人魚館のことを協議しているときにアンケート調査をすることになった。そのときに参考として中郷区からアンケート用紙をもらっている。

【小池所長】

市長の公約で地域自治推進プロジェクトをやっている。ようやく将来に向けた仮のまとめが行われ、会長、所長の会議で報告があるようだ。この先には地域活性化の方向性のような、大潟区の地域ビジョンの作成依頼があると思われる。その時にはアンケート調査等の必要があるのではないかと考える。皆さんの議論を深めるためには、それとは別にアンケート調査をするのもありだと思う。

【横田委員】

困りごとというのは、いくつも項目を挙げていくつでも丸を付けてもらえばいいわけである。

【小池所長】

それはいいと思う。皆さんの中で項目を挙げてやってみるといいと思う。

【土屋会長】

まちづくり班で出ているアイデアを提示するので、それを全体で見確認して、地域の魅力の向上班もそこに上手く加えて1つのアンケートとして出せばいいのではないかな。次回は全体で協議したいと思う。議題については終了とする。

その他に入る。総合事務所から連絡等はあるか。

【風間班長】

3月12日付で「地域自治推進プロジェクトにおける各検討項目の方策案等の公開について」という文書を送付した。市のホームページで公開しているが、印刷した資料が欲しい委員は申し出ていただきたい。また、大潟区、頸城区の地域協議会だよりを配付したのでご確認いただきたい。

【池田次長】

令和7年度第1回地域協議会の日程だが、第3週の木曜日ということで、4月17日（木）午後7時から大潟コミュニティ2階大会議室で開催する。

【土屋会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-534-2111 (内線 201、216)

E-mail : ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。